

葉月 愛南文芸

篠南川柳会

先輩の年を重ねた光る技
 神様も過疎の村には住ずらい
 古いアルバムこんな姿が懐かしい
 暇ですか根掘り葉掘りのたずね事
 背なの孫寝息聞きつつ洗い物
 ありがとう電話で何度も頭さげ
 役職をとればなあんだ同じ人
 目じり下げ女に見とれ好みなかな
 宝くじ少し当たった吉日だ
 頭数ものをゆうのは選挙せん

菊川俳句会

蝉時雨被災地に行く給水車
 恐ろしや梅雨明け前の大豪雨
 梅雨豪雨実家倒壊母避難
 海眩し九島の丘の甘諸畑

もつちゃん
 芝田
 すみ子
 保美
 安子
 さつき
 木本
 ちづる
 みち子
 千代子

浅野勇一郎
 長田 高明
 長田千恵美
 小野山シマ子

はじめまして。赤ちゃん。

6月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

6月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

さわらび短歌会

チイツチイツと何を雀は雨の庭
 梅雨の明けあれやこれやの予定表
 北欧の街はひねもす夏至白夜
 乾杯にビール泡も弾けだす

鶴川 裕子
 中川 一喜
 村尾加都子
 安岡留美子

わが家の明治より住みし先代を得得語りし伯父二十三回忌
 何か一つ楽しみあれば生きられる知らない言葉を克服したとか
 「マアちゃん」と呼ばれた気にして振り返る逝きたる友の懐かしき声
 ひらがなの「ゆるしてください」の文字残す五歳児の死に心ふるへる
 山深き緑の中に一輪の色濃く咲ける鬼百合の花
 「腰の手術決めた」と告ぐる朝の電話友の気持ちはくぐもる声に
 道刈りの慰勞酒に酔い眠りいし夫は寝惚けてあわてて飛び出す
 茄子を植ゑ梅の実拾いジャムに煮る傘寿となりし日々の楽しも
 若竹は古き衣を脱ぎにつついつしか天に戦ぎていたり
 瓶に挿す白菊の花かすか匂い兄逝きてより二週間過ぐ
 惜し気なく友の切りくれしとりどりの百合の芳し梅雨暗き昼

前田 昭夫
 藤井 擴
 澤近 正弘
 前田 知子
 野崎 幸子
 水野美代子
 扇野八代生
 前田 充
 岩村千代子
 河上 明美
 松本マス子

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。